

ごとう通信

第136号

平成24年4月1日

さすがに四月、桜情報も耳に入ってきたながらの「ごとう通信」づくりになる予定でしたが…遅い。もちろん、今年も待ってれば満開の桜は見られると思いますが、ちょっと盛り上がりには欠けます。どうせだったら「四月だ、桜だ、花見だ、新学期だ、みんなガンガン行こうぜ！」的に突っ走りたいところです。

そんな中、三月の終わりのある日、秋田の友人が地元の写真を送ってくれました。吹雪の中で雪に覆われる



家屋。実はそれがその日の彼の自宅だったので。地震も相変わらず続いているようですし、早

く東北に春が来てほしいと願うばかりです。

さて、先日、ある方から連絡があり、地域保健関係の賞に推薦したいと声がかかりました。もちろん悪い気はしませんでしたが、あまりにも立派な賞だったのですぐに辞退させていただきました。

実は最近、「身の丈に合った」という言葉を大切にしています。今まで僕たちが作ってきたネットワークや親しくしている友人たちは今の僕と付き合ってくれているのであって、地位や名誉で近寄ってきた仲間ではありません。逆に、自分の実力以上に高い賞などいただいってしまうと、これまで作ってきたものが壊れてしまいうそです。

今までやってきたことへのご褒美だし、後輩たちへ勇気を与えられる



から受賞した方がいと言ってくれた方も多くいましたが…皇居に燕尾服で入り、天皇陛下から賞を受ける！全く身の丈に合わないことです。

8028運動

先日、ある方から講演会の依頼がありました。さまざまな分野の講演を企画している会社の方で、介護関係の側面から話をして欲しいとのことでした。特にこちらとして文句はなかったので「はいはい」という形で話は進みました。

しかし、具体的な内容になると…全く噛み合わない話に。僕の講演内